

平成十五年三月一日発行

会報

第三十五号

社団法人・岩手県鍼灸按摩マッサージ指圧師会

会 報 第三十五号 目 次

理事長挨拶	理事長 下佐 征昭	1
平成十四年度役員名簿		2
庶務日誌及び会員の動向	総務部 小野田サヨ子	3
理事長会議報告	理事長 下佐 征昭	4
通常総会報告	総務部長 小澤 信男	8
東鍼連代議員報告	事業部 佐々木 実	9
保険部報告	保険部長 伊藤 庸一	10
青年女性部報告	青年部長 佐藤 明	15
共済報告	保険部長 伊藤 庸一	18
学術研修報告	事業部長 山本 孝一	19
北峯忠士氏、岩手県知事表彰を受ける		19
賠償事故、保険金支払一覧		20
各師会の活動状況及び会員の消息		23
盛岡・花巻・北上・水沢・一関・大船渡・釜石・宮古・久慈・二戸		
編集後記	事業部長 山本 孝一	29

余 白

「挨拶」



理事長 下 佐 征 昭

揺れ動く世界情勢、不安定な日本経済の中で会員の皆様方、毎日を、どうお過ごしでしょうか。
ここに平成14年度版、会報35号をお届けいたします。

昨年の7月12日（金）急に、県庁の職員の方から本法人に立ち入り検査を平成14年8月27日に実施したく、その対応について遺漏のないようお願いする旨の電話を受けました。

何せ、初めての経験ですし、国の施策として法人の統廃合を進めていることもあり、心配しておりましたが、送られてきた検査内容項目に沿った資料をできるだけ集めて、誠意をもって説明することにしました。

当日は午後1時から4時過ぎまでかかり会計部長の中村氏宅で2名の検査員から、業務の運営状況、事業の内容及び実施状況、会計処理、収支及び資産の状況、予算決定の状況等、詳細に亘る検査を実施しました。口頭改善命令に関する事項を16項目ほど受けましたが、幸いにも文書による通知は受けておりません。健全な運営をするため指摘事項を謙虚に受け止め運用していきたいと思えます。この検査に協力し対応して下さいました、中村氏、山本孝一氏、小澤氏、山本英典氏に厚く御礼申し上げます。

ところで、米国の医学界が鍼灸、整体、漢方医療、ハーブ等の治療法、いわゆる代替医療を科学的手法により正しく評価し医療として取り入れる姿勢を打ち出しています。

「代替医療を1年間に1度でも体験したことがあるか」を問う調査では、米国国民のうち42%が、英国では20%、日本76%で欧米に比べて日本の体験度の高いことがわかれると思えます。日本でも代替医療の研究や教育を医学の中で認め、西洋医学一辺倒から、代替医療を受ける者の選択の幅が広がることを期待する今日です。

-1-

平成十四年度 役員名簿

理 事 長 下 佐 征 昭

筆頭副理事長 山本 孝一（事業部長）

副 理 事 長 中村 哲夫（会計部長）

副 理 事 長 小澤 信男（総務部長）

監 事 千葉 健一（盛岡市議会議員）

監 事 及川 清隆（水沢市議会議員）

顧 問 石川 文治

常務理事 伊藤 庸一（保険部長・共済担当）

常務理事 佐藤 明（青年部長・保険担当）

常務理事 小野田 サヨ子（総務部担当）

常務理事 山本 英典 (会計部担当)
 常務理事 佐々木 実 (事業部担当・点訳)
 常務理事 菅原 史生 (事業部担当・青年部担当)
 理事 佐々木 金男 (盛岡師会長)
 理事 坂本 昭市 (花巻師会長)
 理事 高橋 隆 (北上師会長)
 理事 小澤 信男 (水沢師会長)
 理事 鈴木 富雄 (一関師会長)
 理事 佐藤 明 (大船渡師会)
 理事 佐々木 至 (釜石師会長)
 理事 小野 一茂 (宮古師会長)
 理事 岩本 芳弘 (久慈師会長)
 理事 古舘 吉弘 (二戸師会長)



常務理事会を前に
 前列左から、中村、山本(孝)、下佐、小沢
 後列山本(英)、佐々木、伊藤、菅原、佐藤

小野寺サヨ子

-2-

平成十四年度 庶務日誌 (平成十五年一月一日現在)

総務部 小野田 サヨ子

平成十四年

- 4月20日 第一回事務局会議開催 (視福会館)
- 5月12日 平成十四年度六十一回通常総会開催 (盛岡労働福祉会館)
- 5月19日～20日 全鍼師会師会長会議 (東京ファッションタウンビル) 及び定期代議員会・通常会員総会 (東京ホテル浦島) また東鍼連平成十三年度第三回理事会 (同ホテル浦島) 等が開催され、中村副理事長、佐々木実常務理事が出席。
- 5月28日 県師会役員承諾書等の関係書類を法務局に提出、受理される。
- 6月11日 平成十三年度県事業報告書を県知事宛提出。

- 7月7日～8日 第二十回東北鍼灸マッサーヂ学術大会並びに、第五十六回東鍼連定期代議員総会青森大会（青森浅虫温泉海扇閣）が開催され、師会長会議に下佐理事長、代議員総会に山本副理事長、佐々木常務理事、東北ブロック青年女性部長会議に佐藤常務理事、古舘会員、保険担当者会議に伊藤常務理事が出席、学術講習発表者は猪ノ口富蔵氏。
- 7月21日～22日 第一回全鍼師会大会 in 箱根（箱根湯本ホテル「おかだ」）が開催され、佐藤常務理事出席。
- 7月22日 県知事との間で生活保護法による医療扶助施術（鍼灸マッサーヂ治療費）に関する変更協定書を取り交わす。）
- 7月28日 第二回事務局会議開催（視福会館）全鍼師会、日鍼会共催による保険取扱実務担当者会議（東京池袋メトロポリタンプラザ）が開催され、伊藤保険部長が出席。
- 8月4日 第一回常務理事会開催（労福会館）
- 8月27日 厚労省による公益法人への立ち入り検査実施さる（中村会計部長宅）。正副理事長及び山本常務理事が立ち会う。
- 9月8日 青年部・保険部共催の第三回講習会開催（視福会館）。
- 10月6日 学術研修会開催（盲学校）
- 10月7日 総務省よりの公益法人現況調査依頼について県知事宛提出。
- 10月13日 第二回東鍼連理事会（仙台みやぎ婦人会館）が開催され、下佐理事長出席、また東北ブロック保険取り扱い研修会も同所にて開催され、伊藤保険部長、古川会員出席。

-3-

- 10月13日～14日 第5回東北ブロック青年女性交流会（かんぼヘルスプラザ仙台）が開催され、佐藤青年女性部長出席。
- 11月10日 全国師会長会議（東京ファッションタウンビル）が開催され、下佐理事長出席。
- 11月17日 第三回事務局会議開催（視福会館）

平成十五年

- 1月12日～13日 第二回常務理事会開催予定（釜石宝来館）
- 3月16日 理事会開催予定

平成14年度 会員動向（平成15年1月1日現在）

項目	月日	師会名	氏名
入会者	4月10日	盛岡	松下優子
	11月4日	水沢	高橋善次
退会者	4月10日	二戸	吉田満
	5月10日	盛岡	倉本徳志
	5月10日	盛岡	四戸文雄

平成十四年度各会議報告

理事長 下佐 征昭

全国師会長会議は、平成 14 年 11 月 10 日（日）午後一時より昨年と同様、有明の東京ファッションタウン 904 研修室に於いて全国 39 県師会の出席（内委任状 4 県師会）を以って開催された。議題の主なものは各局の本年度上半期経過報告及び定款改正の方向性及び関係規程の改正に向けての審議であった。この事については、斯界通信の 12 月号に詳細に掲載されていますので、ここでは省略させていただきます。

平成 14 年度東鍼連第 2 回理事会が、平成 14 年 10 月 13 日（日）午前 11 時から午後 4 時まで仙台市青葉区の宮城県婦人会館 4 階「松」の間で開催された。渡邊一男氏（宮城）、木村俊雄氏（山形）、丸山芳也氏（秋田）、梅宮光男氏（福島）、笹川隆人氏（青森・会長代理）、下佐征昭（岩手）の東北師会長が出席した。

第 1 号議案 組織強化に関する件

（渡邊）会員の高齢化、若年層の組織離れなどの要因を踏まえて議論戴きたい。（下佐）福利厚生の完備、会員の資質向上、経営感覚を身につける研修会等での対応。

-4-

（木村）学術研修の内容の転換、生涯研修単位を見直し、より現場に対応させる、青年部主導の経営についての講座、養成学校等と対応した卒後研修、公共施設等での鍼灸マッサージ啓蒙のための講演技術の習得。（丸山）なぜ会員が減るのか考えるべき、無資格問題等、すべき仕事をやり直すべき。（梅宮）個人の業績悪化による退会者が増えている、鍼灸マッサージ、業界をアピールするパンフレットを作成したらどうか。（笹川）日鍼会と共同でスポーツセラピーの別団体を組織し、会員の卒後研修、一般への業界の啓蒙活動をマスコミを通じて多面的にアピールし、行政や他の医療関係者とのネットワークを構築・強化している、「明るい鍼灸マッサージ（師）」のイメージ作り。

（木村）東鍼連情報 MM の規約として各師会長も参加できるように変更したい（了承）、各県の公式情報、他の県師会が参加できる講習会等の情報を流していただきたい、東鍼連の HP を作ってはどうか。

（了承）

第 2 号議案 無資格者対策

（渡邊）県知事へ無資格者業者の実態調査を依頼、現在、県庁（医療整備課）と定期的交流する方向となっている。（下佐）無資格者との選別化と行政各所への啓蒙活動の予定。（木村）屋外使用できる施設開設届出書の交付が県当局より大筋で認められた、携帯免許所持証明証の作成（ホテル業者、治療院の従業員等の意識付けとマスコミ対策）、門標を作成する予定、東鍼連としての医業類似行為の概念、見解を明確にして欲しい。鍼灸マッサージは医療従事者、柔整以外のものはすべて医業類似行為と確認した。（丸山）各県での対応には限界があり、別団体を作るなどして裁判を起こすべき、鍼灸マッサージ（師）の正当な立場について国に判断を仰ぐべきではないか、会員のフラストレーションも限界を超え、目に見える積極的な行動が必要に思う。（笹川）効果的なモグラ叩きの継続的な実施、厚生労働大臣免許以外の認定免許等の実態調査と指導の要請、マッサージを業とする（ホテル・温泉等）業者の実態調査と指導の要請、電話帳（タウンページ等）広告の「はり、きゅう、マッサージ」の欄から無資格業者をリストアップし摘発する。以上の行動により、保健所・行政機関等が調査協力した場合は、各県師会長名で感謝状を授与し、マスコミを通じ必ず報道してもらい、今までは無資格者から甘く見られていたという反省の上に立ち、強く毅然とした態度で臨んでいただきたい。

(渡邊) 以上のことを参考に実行できるものを東北各県で協調して実施すること。特に青森県の意見(NTT 対策、感謝状を授与等)は実行による効果が期待でき、費用もかからず行政との関係を強化できる可能性があるので早速取り掛かっていただきたい。(補足) また、全鍼師会からの三大全国紙への意見広告については、内容が分からないことから経過観察となった、特に一億円の費用のカンパについては否定的な意見が多く出た。同じ金をかけるなら政府広報の CM 等効果的な方法があるのではないかと意見もあった。

第 3 号議案 日東医学会福島大会の支援について

(梅宮) 開催要項について説明。日時は平成 15 年 10 月 17 日(金)、18 日(土)、場所は郡山ビューホテル「アネックス」。会費は会員五千円、一般一万円、学生五千円、各県より 20 名くらいの参加者をお願いしたい。(全体で 350 名を予定) 一般講演への人的協力をお願いしたい(各県一名は発表して欲しい)。各理事よりできるだけ協力するとの回答があった。

第 4 号議案 東鍼連会名変更について

(渡邊) 各理事の皆さんの意見を聞きたい。(下佐) 現行通りでよい。(木村) 会名変更賛成、中央にならって短縮してもいいのではないか。(丸山) 会名変更賛成、代議員の意見でも賛成が多かったと思う。(梅宮) 按摩という言葉に愛着があり、現行通りをお願いしたい。(笹川) 福井秀美会長からは「個人的には現行通りでいいと思うが、業界全体を考えると会名の変更はやむを得ないと思う」と言われてきた。私自身も変更には賛成ですので、青森県としては賛成でお願いします。また、議案を提出している宮城県が変更反対というのはおかしいと思います。

(渡邊) 大体の意見も出揃い、代議員会の総意のように会名を変更したいと思います。「東北鍼灸マッサージ師会連合会」でよろしいですか。各理事により会名変更について承認された。

第 5 号議案 東鍼連岩手大会の進捗状況について

(下佐) 開催要項について説明。日時は平成 15 年 7 月 6 日(日)から 7 日(月)場所は盛岡市繋温泉「ホテル愛真館」、会費については宿泊、懇親会込み一万七千円、付き添い一万六千円。学術講演は渡邊一男東鍼連会長をお願いしたい。(了承) 日東医福島大会でも講演が決まっております内容について重複しないことを確認した。

岩手大会では各理事は開会式、講演に出席してもらえよう理事会を設定する。以上、報告。

第 6 号議案 その他

東鍼連会則等、申し合わせ事項の確認。(木村) 会則の変更、申し合わせ事項の確認を行い、データとして残したいと思います。後日事務局へ送付いたしますので、各県で確認をお願いします。

- ・東鍼連大会での、事務・財務局長旅費は宿泊費とし、交通費は支弁しない。
- ・東鍼連会長の理事会等の出席旅費について、他の会議の日程の中で行われる場合はこれを支弁しないこととする。
- ・事務局旅費科目は東鍼連会長の宿泊交通費を含んでいるが、紛らわしいため「役員活動費」などの科目に分類・変更する。
- ・輪番制となったため、事務局長・財務局長の表彰を廃止する。

・東鍼連における公文書については原則、郵送またはメールとする。東鍼連、IT関連についての確認
(木村)

次のように確認をお願いします。東鍼連交流 ML 会員全員参加自由、個人レベルの情報交換を目的とする。東鍼連情報 MM 東鍼連理事、または各県代表者の参加により各県公式情報を（他の県師会会員が参加できる講習会等）交換する。東鍼連 HP を近く立ち上げる予定。全鍼師会、名簿の作成のお願い。

(笹川) 全鍼師会への要望ですが全会員名簿を作成していただきたい。11月の師会長会議で要望をお願いします。理由として、全国各師会での各担当者が分からないことが多く不便。各機関との交渉時、会員数・組織図がはっきりしていたほうが信頼される。プライバシーへ配慮し、各師会へ配布、一般会員へは販売でも良いと思う。また転売防止のためナンバーで購人者を管理する、年次更新はメールで行い、改定版は全鍼師会の会長交代等、大幅な人事異動があった年に限って出す等、経費の軽減に細心の注意を払って名簿の発刊をお願いしたい。

東鍼連会長、任期の確認。(木村) 他のブロック長の任期終了が今期ということもあり、現行通り来年度も渡邊会長留任でよろしいですか。各理事より拍手にて承認された。(理事会記録から転載)

-7-

平成 14 年度通常総会報告

総務部長 小澤 信男

平成 14 年度通常総会の要旨は次の通りです。

第 61 回通常総会は、平成 14 年 5 月 12 日（日）午前 10 時より、岩手県労働福祉会館「盛岡市大沢川原 2 丁目」の 5 階大ホールに於いて開催された。

総務小澤の司会により総会は進められ、平成 13 年度中、死去された会員 4 名の物故者に対して、黙祷を捧げ、ご冥福を祈った。その後、資格確認に入り、総務の小野田氏より会員総数 122 名、出席 44 名、委任状 58 名、合計 102 名で総会は成立したことを報告した。

続いて山本副理事長の開催の言葉で始まり、下佐理事長のあいさつ、来賓には盛岡市議会議員の千葉健一先生、顧問の石川文治先生にそれぞれご挨拶を頂いた。

セレモニーの後、議事進行のため役職ついて提案され、執行部一任のこと、議長に佐々木実氏、選任記録人に、佐藤明氏、議事録署名に中村哲夫氏、猪ノ口富蔵氏を選び、議事に入った。

第 1 号議案 理事長会務報告では、滝沢の鍼灸専門学校新卒者との協調路線について説明、また、無免許者対策など、11 項目に渡り報告した。

第 2 号議案 各部報告では、総務部、事業部、保険部（共済）、青年女性部の順に報告された。詳しくは会報 35 号を参照されたい。

第 3 号議案 平成 13 年度決算並びに監査報告では、総収入三、〇三一、八七九円。総支出二、四二九、八九六円。差引残高（次年度に繰り越し）六〇一、九八三円と説明あり、北峯監事より相違ない事を報告した。

第 4 号議案 平成 14 年度事業計画案では、例年通りではあるが、積極的に多数参加されることを求めた。

第 5 号議案 平成 14 年度予算案では、二、八二九、九八三円の予算説明があり、緊縮財政であることを理解を願った。

第6号議案 平成15年度通常総会開催について、開催日、平成15年5月10日(土)11日(日)、会場は釜石市鶴住居の(宝来館)でと説明し、多数がご参加との挨拶が佐々木釜石師会長からあった。

第7号議案 平成15年度東鍼連岩手大会開催について、開催日、平成15年7月6日(日)、7日(月)。会場、つなぎ温泉(ホテル愛真館)で行われる。

-8-

それに、東鍼連事務局長には山本孝一氏、財務局長に中村哲夫氏、大会準備の実務は盛岡師会と報告された。

第8号議案 その他では、総務部より新師会長3氏(盛岡師会長佐々木金男、花巻師会長坂本昭市、二戸師会長古舘吉弘)が紹介された。

以上8議題、全て原案通り満場の拍手をもって採択された。

なお、議案の詳細は各担当者より会報35号に報告してありますのでご参照ください。

次に議案審議終了後、役員改選に入り、下佐理事長再選、新監事に及川清隆氏選任、常務理事に菅原史生氏、外部監事に千葉健一氏が再任。

最後に、新理事長より皆さんの協力が不可欠ですと就任挨拶があった。

議長の素晴らしい議事進行により、予定時間午後一時に終了し、中村副理事長の閉会のことばで総会は閉じられた。

東鍼連代議員報告

事業部 佐々木 実

平成14年度の東鍼連大会は、7月7日(日)、8日(月)の両日、青森市浅虫(ホテル海扇閣)にて行われました。本県からは24名(内、付き添い5名)全体で120名余りの人が参加した大会となりました。

1日目の7日は、午前10時30分より理事会、保険担当者会議、青年女性部長会議があり、午後1時より5時まで、第27回学術大会が開催された。

学術講演では、陰生病院副院長、牧口幸一先生による(精神病と現代社会と題する講演があり、6題中の1題を当師会所属の盛岡師会猪ノロ富蔵氏が(バイアグラ後遺症の針治療)という演題で発表、珍しい症例なので質問が殺到しました。

そして最後は、全鍼師会会長の杉田久雄先生による特別講演(業界の現状と対策展望)で、学術大会を終了した。6時より、懇親会が盛大に行われた。

2日目は、同じ会場に於いて、第56回代議員会総会が午前9時から2時間行われ、本県から代議員として山本孝一、佐々木実の両氏が参加した。

-9-

議長に、青森県師会の大沢光弘氏、副議長に本県の佐々木実氏が選ばれ議事は開始された。主だったところを簡単に述べると事業報告、計画、決算、予算は、提案通り承認され、又、宮城県から出された「東北鍼灸按摩マッサージ指圧師会連合会」という名称から「按摩」と「指圧」をとって、全鍼師会と

揃えてはという案が出されましたが、今後の検討事項とされ、又、各県提出の議題で、全鍼師会への要望として、宮城県より無資格者取り締まりのことについても各県やブロックが公式に提出した。

質問書や意見書には全鍼師会も正式文章で解答することを求める等の提案を満場一致で可決しました。

最後に本県師会の下佐理事長が、来年度の東鍼連大会は、盛岡のつなぎ温泉（愛真館）で、七月六日（日）～七日（月）、会費一万七千円で行う予定であることを報告し承認された。

以上で東鍼連報告は終わりますが、平成 15 年度は岩手開催となります。皆さんの協力と参加をお願いして、ペンを置きます。

平成十四年度 保険部報告

保険部長 伊藤 庸一

一、保険部日誌

5月20日 東鍼連担当者会議資料提出依頼

（福祉助成実施状況について、6月20日提出）

5月24日 保険第〇五二四〇〇三号厚生労働省保険局長通達届く

「はり師、きゅう師に係る療養費の期間、回数制限を設けない取扱いを容認する」

・平成14年6月1日より実施

5月24日 健康保険施術料金改定、平成14年6月1日より実施

7月7日 東鍼連保険担当者会議

7月18日 労災保険施術料金改定に伴い、岩手労働基準局長と岩手県保険鍼灸マッサージ師会会長と協定締結。平成14年8月1日より実施

7月28日 日鍼会、全鍼師会全国合同保険部長会議

9月8日 青年部と共催講習会

10月13日 東北ブロック保険推進研修会

二、はり師、きゅう師に係る療養費の支給期間及び支給回数について

-10-

平成14年5月24日付保発第〇五二四〇〇三号が厚生労働省保険局長より全国の関係者に通知された。これは、従来はり師、きゅう師に係る療養費は、各月10回までを限度として支給していたが、平成14年6月以降は、個別の症状を勘案し従来の支給期間や支給回数について制限を設けない取扱いを容認するという内容のものである。

但し、この療養費を支給決定に当たっては、必要に応じ申請者に施術者が作成した施術内容のわかる文書の提出を求めることなど、その適正な支給に万全を期すよう指導されたいとありますので、治療に当たっては施術録等に必要事項を記録しておく必要があるようです。

三、健康保険施術料金の改定について

健康保険施術料金は、2年に1度改定され、これまで僅かずつでありましたが値上げされてきた訳であります。しかし、今回はマッサージ保険は現状のままですが、鍼灸料金は、〇.六五%の減額という内容になっております。（改定施術料金、平成14年6月1日より実施）

(はりきゅうの場合)

・はり、きゅう一術一回一、一九〇円（初回二、三〇〇円）

※電気鍼又は電気温鍼器を使用した場合は三十円加算

・はり、きゅう二術一回一、四九〇円（初回二、六五〇円）

※電気鍼又は電気温鍼器を使用した場合は三十円加算

往療料一、八七五円

※片道二kmを超えた場合又は、その端数を増す毎に八百円加算

・支給期間及び支給回数

平成 14 年 6 月 1 日以降は、個別症状を勘案し従来の期間や回数を超えて支給しても差し支えないものとする

(マッサージの場合)

・マッサージ一局所二四〇円

※温罨法と併施した場合は、一回につき八十円加算

・変形徒手矯正術一肢五二〇円

往療料はり、きゅうの場合と同様

四、生活保護法による医療扶助運営要領についての一部改正

健康保険法等におけるはり、きゅう及びあんま、マッサージに係る療養費の算定基準が改定されたことなどに伴い一部を改正し平成 14 年 6 月 1 日から適用することとした。尚、改正料金は健康保険施術料金に準じております。

-11-

五、労災保険施術料金基準の一部改正について

健康保険におけるはり、きゅう師及びあん摩、マッサージ指圧師の施術に係る療養費の支給基準が改正されたことに伴い、その一部を改め、平成 14 年 8 月 1 日から適用することとした。尚、これに伴い、岩手労働基準局長と岩手県保険鍼灸マッサージ師会長との間で平成 14 年 7 月 18 日に協定を締結しております。

(改正料金)

・はり、きゅう一術二、五〇〇円

・二術三、九三〇円

・マッサージ二、五〇〇円

・はり又はきゅうとマッサージ併用三、九三〇円

・往療料二、二五〇円

六、70 歳以上の高齢者の療養費取扱いについて

平成 14 年 10 月 1 日より、健康保険法改正に伴い保険推進協議会として統一的に取り扱うことになりました。

一、平成 14 年 9 月 30 日までに 70 歳を迎えた方は、老人保健法の「医療受給者証」となります。

従来どおり老人保健医療費支給申請書により申請してください。

但し、「医療受給者証」の一部負担金の割合を確認し、申請書の右上の欄外に高齢 8 又は高齢 9 と記入してください。

一部負担金の割合 1割→高齢9

2割→高齢8

二、平成14年10月1日以降に70歳を迎えた方は（前期高齢者）現在加入する保険者（国保・社保、組合・共済など）の支給申請書により加入保険者へ申請してください。

前期高齢者には後日、加入保険より「高齢者受給者証」が送られてきますので、一部負担金の割合を確認し、申請者の右上の欄外に高齢8又は高齢9と記入して下さい。

三、一部負担金と支給額について

老健の窓口で一部負担金において、柔整の場合と同じ10円未満の端数処理をしていたところは、前期高齢者についても同じように取り扱ってください。但し、保険者からの支給額については0.9、0.8をかけた円単位までの金額が支給されます。

なお、円以下の金額は全て保険者の切捨て、被保険者の切り上げとなります。

-12-

七、東鍍連保険担当者会議

平成14年7月7日、午前10時30分より、青森県浅虫温泉「海扇閣」において各県の保険部長が集まり開催されました。議題は、

一、各県保険取扱い状況

二、各県の現状と問題点

三、その他

以上の三点であったが、ここには各県の保険取扱い状況をお知らせしておきます。

青森県 九一、二八四、一二二円 五、一九一件

秋田県 二九、九二六、〇八〇円 一、三五二件

山形県 一六、六九二、三三五円 一、一三六件

宮城県 四四、一五二、七八〇円 三、三六一件

福島県 約上六〇、〇〇〇、〇〇〇円 不明

岩手県 八、五〇六、〇四〇円 四三三件

又、秋田県、福島県、山形県で居宅介護支援事業を開設しすでに活動をしております。

八、全国合同保険部局長会議

平成14年7月28日、池袋メトロポリタンプラザ12階第一会議室に全国から136名の日鍼会、全鍼師会の保険部長が一同に会し開催された。これはこの度の療養費における鍼灸施術の期間・回数制限が平成14年6月1日から撤廃され、これまで30年間基本的に変わらなかった取扱いが、大きく変わろうとしている中で、全国の会員に適正で円滑な運用を周知徹底する目的で開催されたものである。

内容については、

一、保発第〇五二四〇〇三号通知の解釈と運用と問題点（全鍼師会吉川保険局長）

二、健康保険制度における療養費の現状について（上田孝之・厚生労働省保険局医療課療養指導専門官）

以上、保険取扱いに関する重要なものであった。これらの事についての詳細は、斬界通信98号付録・保険特集号と斬界通信101号に掲載されております。又、この件について岩手県師会としても、9月8日に盛岡市・盲人ホームにおいて青年部と共催した講習会でも取り上げております。

九、青年部との共催講習会

平成14年9月8日盛岡市盲人ホームを会場に県内各地より37名の出席のもと、開催いたしました。

-13-

今回で23回目という事で、より多くの参加者を募るという事で、県立盲学校、北東北東洋医療専門学校で学んでいる方々にも声をかけ、業界情勢について知っていただき有意義な講習会となりました。

内容については、「治療院繁栄の方策」というテーマで

- 一、業界の諸情勢
- 二、全鍼師会大会報告
- 三、保険制度の取り扱いの実際
- 四、保険関係の新情報
- 五、江刺クーアハウス立ち上げと事業の実際

以上の内容でありましたが、特に江刺クーアハウスの皆様の話は我々が今後幅広く仕事をしていく上で取り組んでいかななくてはならない分野への提言として意義深く、大変勉強になった講習会でありました。

一〇、東北保険取り扱い研修会

平成14年10月13日仙台市県婦人会館を会場に東北6県の保険部長が集まり、午前中は部長会議
午後は、全鍼師会保険局長・吉井保先生の「厚生労働省通達改定後の課題」と題し講演が行われた。

十一、福祉助成について

・県内外の福祉助成実施状況

- 一関市…昭和61年から実施五百円（一回） 八枚（一年）70歳以上対象
- 花泉町…昭和61年から実施五百円（一回） 十二枚（一年）70歳以上対象
- 金ケ崎町…平成8年から実施五百円（一回） 五枚（一年）70歳以上対象
- 胆沢町…平成11年から実施五百円（一回） 五枚（一年）70歳以上対象
- 平泉町…平成13年4月如日から実施五百円（一回） 六枚（一年）70歳以上対象
- 水沢市…平成13年9月1日から実施五百円（一回） 六枚（一年）70歳以上対象
- 青森県…青森・八戸・黒石の3市で実施

- 一、〇〇〇円（一回） 十二枚（一年）70歳以上対象

秋田県…県内9市10町村中未実施は9町村

- 五〇〇円～一、〇〇〇円（一回） 一～四〇枚（一年）55～70歳以上対象

宮城県…古川市・多賀城市・一迫町

-14-

- 一、〇〇〇円（一回）六枚（一年） 65歳以上対象

山形県…36町村で実施

- 一、〇〇〇円（一回）五～十五枚（一年） 70歳以上対象

福島県…90市町村中11市町村で実施

- 五〇〇円～一、〇〇〇円（一回） 五～十枚（一年）70歳以上対象

伊達町では介護者にも3回、郡山市は療術者にも12枚

宮崎県…全市町村で実施

五〇〇円～一、五〇〇円（一回） 五～八十四枚（一年）年齢制限無し

十二、岩保会について

現在特に活動しておりませんが、平成14年7月18日労災保険施術料金改定に伴い、岩手労働基準局長と岩手県保険鍼灸マッサージ師会会長と協定を締結しております。（平成14年8月1日から実施）

平成十四年度青年女性部報告

青年部長 佐藤 明

一、第二十七回東鍼連青森大会青年女性部長会議報告

平成十四年七月七日（日）浅虫温泉ホテル海扇閣において開催され、佐藤明、古舘吉弘兩名が出席した。

（議題）

一、今後の青年局女性局の事業への対応

①全鍼師会大会について

各県師会において、互いに参加し各県に反映されるよう研修する。

②青年女性のつどいについて

全鍼師会大会の部長会議で協議されるので、その時に意志を表明する。

二、今後の活動（東鍼連）について

①新規会員の入会促進にどう取り組むか

- ・養成学校や盲学校の卒業生に対して、業界のPRをもっとする必要がある。
- ・各県師会でホームページを作成し三療のPRを内外に示す必要がある。

-15-

- ・スポーツセラピー等のボランティアを通じて会員や学生、会員外の人達と交流を進めることが大事である。

②往療マッサージのネットワーク組織拡充について

- ・今後、医療制度改革が進む中で、保険取り扱いの見直しや厳しさが増すことが予想される。
- ・その危機の波が訪れる前に保険の取り扱いやすい、訪問リハビリマッサージを普及させ課題やノウハウ、展望などをお互いに勉強し情報交換する目的でネットワークを整備する。

（意見として）

- ・各県師会の保険部と連携し訪問リハビリマッサージを進め、問題やノウハウを勉強し合えるチーム作りをする。
- ・行政（県）に対して、各県師会として訪問リハビリマッサージのPRや陳情も効果的ではないか。
- ・パンフレットなどを作成し各介護施設、訪問介護ステーションなどへのPRも必要ではないか。

③東北青年女性交流会について

日時・平成十四年十月十三日（日）～十四日（月）

場所かんばヘルスプラザ仙台

内容後日通知することです承

三、次期ブロック長推薦候補について

次期青年ブロック長に福島県師会青年部長の馬場雅弘先生、女性ブロック長に福島県師会女性部長の相楽清子先生を各推薦候補として承認した。

二、第一回全鍼師会大会 in 箱根参加報告

平成十四年七月二十一日（日）～二十二日（月）、箱根湯本ホテル「おかだ」を会場に開催され、佐藤明青年部長が出席した。

（第一日目）

第一部、開会式。大会テーマ「みんなで創ろう明日の全鍼」。

第二部、各分科会。第三部、フリートーキング。第四部、懇親会。

（第二日目）

第五部、「全国青年女性部長会議」出席

・協議事項のまとめ

①第一回大会の内容について。

②今大会の評価について。

-16-

③青年女性のつどい実施について。

④新年度役員改選について。

⑤保田局長のことば。

⑥組織強化について。

・明年二月の全国青年女桂ブロック長会議開催を確認

第六部、奪括。各分科会や会議、フリートーキングの報告。

閉会式では次期開催地を兵庫県神戸市舞子に内定した。

三、第三回保険部、青年部共催講習会報告

平成十四年九月八日（日）、岩手県視覚障害者福祉会館において約四十名の出席をいただき開催されました。サブテーマ「治療院繁栄の方策について」ということで、保険取扱いの実際と新情報を始め、江刺クーアハウスの四名の方によるリレー講演は関心も高く、実際の事例として興味深いものでした。また、今回は特に学生や非会員の出席も多く、真剣な研修と有意義な交流が行われました。

四、第5回東北青年交流会報告

平成十四年十月十三日～十四日、かんぼヘルスプラザ仙台にて開催され、佐藤明、袖林広正法両名が出席した。開会式に続き講演があり、「訪問リハビリの展望と課題」という演題で、講師には秋田県師会保険部長小松田泰先生を招きました。（詳細省略）

次に、フリートーキングとして、テーマ1「めざせ！魅力的組織づくり、今、青年女性部に求められるものは？」。テーマ2「めざせ！経営安定！今、何が必要か？」。座長を立てて、活発な意見交換がありました。（詳細省略）

〈各県部長会議〉議題

一、東鍼連青年女性部の活動について

・次年度当番県は岩手県

- ・日程、平成十五年十一月第三土、日（予定）
- ・会場、内容、要項案未定（次年度東鍼連岩手大会時に決定）
- ・次年度も、各県盲学校、養成校に案内文書を送付する
- ・訪問リハビリマッサージネットワークの早期設置に取り組む

二、青年女性局の今後の対応と課題

-17-

- ・全鍼師会青年局の動向を今後も注視して行く

第二日目には、「女性としての治療院経営と婦人科疾患に対する治療」と題しまして、講師に福島県師会学術部長の乃一洋美（のいちひろみ）先生を招き講演を頂きました。（詳細省略）

最後に閉会式となり、亀谷青年ブロック長のあいさつがあり終了。

五、平成十五年度の青年部活動予定

新年度の七月には東鍼連岩手大会が開催され、新しいブロック長のもと各県青年女性部長会議が開かれます。

十一月には、第6回東北青年女性交流会が予定されています。開催要項は七月の会議で決定されます。

会員の建設的な意見交換や議論が、会を元気にし組織を活性化させ、業界を発展させる原動力になると思います。青年部事業への積極的参加やご意見をお寄せください。

共済報告

共済担当 伊藤 庸一

消毒薬購入の変更について

これまで消毒薬購入に当たって共済担当者がまとめて、(株)小田島と購入契約を行ってまいりましたが、今後事情により、平成14年6月から、県内9カ所にある(株)小田島営業所と会員各自が直接購入契約を行う事となりました。

ただし、白衣の注文や使用済み針の処分については、これまでと同様に共済担当を存続し、前担当者の北峯忠士に代わり、保険部の伊藤庸一が兼務となります。

なお(株)小田島営業所一覧は次の通りです。

本社（花巻） ○一九八―二六―四二―一

岩手支店 ○一九―六三―七―三三―三三

二戸営業所 ○一九五―二五―四二―一五

久慈営業所 ○一九四―五二―〇〇―八八

宮古営業所 ○一九三―六二―三六―三八

水沢営業所 ○一九七―二三―三一―五五

一ノ関営業所 ○一九一―二三―六一―五一

釜石営業所 ○一九三―二四―三一―二一

陸前高田営業所 ○一九二―五三―一―三七

平成十四年度学術研修報告

副理事長 山本 孝一

平成 14 年 10 月 6 日（日）午前 9 時 30 分より本会、盲学校同窓会、視福協の三団体の共催で盲学校の視聴覚室と按摩室において開催されました。

講師は筑波短期大学鍼灸科教授坂井友実先生でした。先生は全日本鍼灸学会理事、国家試験委員会幹事などを歴任されております。

演題は「頸肩腕痛の病体把握を鍼灸手技療法、特に頸椎症を中心として」でした。

午後は按摩室に移り実技が指導され 3 時に終了しました。今回の受講者は 40 名強と昨年よりいくらか多かったが、皆さんの参加を強く望みます。

午前の部の講演は録音してあります。聞きたい方は連絡ください。

前副理事長北峯忠士氏、岩手県知事表彰を受ける

第 45 回県身体障害者福祉大会が平成 14 年 10 月 30 日、陸前高田市の市民会館に於いて開催され、自立更生者として、前副理事長の北峯忠士氏が晴れて、岩手県知事表彰を受けました。

昭和 22 年から現在に至るまで、55 年の長きに渡り治療院を開設し、地域や県民の保険、治病に寄与し、その間、本会の理事 15 年、副理事長 13 年、監事 2 年、保険師会会長 10 年の数々の役職をこなし、本会に多大な貢献をいたしました。

心よりお祝い申し上げます。（文責 下佐征昭）

賠償事故、保険金支払一覧

発生日	事故種類	原因部位	使用器具	事故状況	支払額
H12.3.1	胸挫傷	左前胸部、左側部位	マッサージ	背部を指圧していて、左前胸部・左側胸部を挫傷する	530,060
H12.3.25	火傷	下腹部	温灸（中国製の棒灸に明健社のフード使用）	下腹部に温灸（カマヤペット・フード使用）を施した所、熱感を訴え、取り除く。その後丸いミミズ腫れ状に発赤していた。	61,720
H12.3.29	気胸	右胸	鍼・灸・低周波治療器	背部針治療による深刺し	300,000
H12.11.12	骨折	左肋骨骨折	セイリンディスプレイサブル鍼（寸6・2番）	仕上げ治療の為、両手を机につかせ、立位で右肩に5mm単刺じゅうねん後、右承山5mm途中にふらついて前方机に転倒、胸部から上を打撲する。	217,894
H12.2.26	接触皮膚炎	背部・腰部	手袋・塩	あかすり（手袋使用）後、石けんで洗い、さらに塩を使つてのマッサージを行う。発疹ができる。	21,239
H12.3.31	骨折	肋骨骨折	マッサージ	うつ伏せにして、背中（脊柱の両側）を軽く押した時に、にぶい音がした。	15,620
H12.1.14	気胸	肺気胸	鍼・マッサージ		570,009
H12.1.14	気胸	肺気胸	鍼・マッサージ		89,991
H12.1.11	気胸	左胸部	鍼（寸3・2番）	第7胸椎左側3cmに対する寸6・3番鍼の指鍼が深すぎた。帰宅途中、背部のこわばりを感じ始め、帰宅後夜から発症。	589,370
H12.5.8	挫傷	右肋軟骨挫傷、左上腕外上果炎	指圧	肩背部のコリを和らげるために、手掌にて押圧したところ、「ポキッ」という音がし、痛みを生じた。	120,612
H12.5.22	気胸	肩甲間部	日本鍼（3寸）、低周波治療器	日本鍼にて肩甲間部を強刺激、筋緊張の強い部位に温熱灸及び低周波鍼通電を12分行う。抜鍼後、肩甲間部の圧痛部に単刺を行う。一時、帰宅途中に呼吸困難になる。	94,740
H12.7.14	気胸	肩甲間部	鍼（寸3・2番）	肩上部及び肩甲間部に10回ほどの斜鍼施術をした。施術1時間後、背部の苦痛の訴えあり	535,870
H12.6.14	気胸	頸肩部、肩背部	セイリン鍼 40mm18号鍼	伏臥位で肩甲間部に40mm18号鍼を直刺。刺入深度は、約20～25mm程度。	70,150
H11.9.18 H11.9.18 H12.2.26	皮下化膿	背部	垢すり	垢すりした時に「ヒリヒリ」し、その後、化膿した。	108,761 200,000 300,000
H12.3.7	賠償、軽い火傷	オーダーメイドのYシャツ	お灸	左外側上顆炎の治療中に、お灸が転倒落下し、Yシャツを焦がす。軽い火傷を負わせてしまう。	16,640
H12.3.14	痛み	腰	マッサージ	マッサージ治療してから後、腰痛が発生。	1,357,240
H12.8.4	胸骨骨折	胸骨	指圧	骨粗鬆症なので、軽く指圧していたが、胸骨を指圧した途端、にぶい音と共に凹んだ。	120,790

発生日	事故種類	原因部位	使用器具	事故状況	支払額
H12.1.12	背部・胸腔壁内状 鍼	背部	鍼（寸3-2番） パルス治療	寸3の2番（ステンレス製）を使用し、施術後、折鍼事故	313,563 858,790 286,470
H12.4.28	骨折	第1腰椎圧迫骨折		治療終了後、治療室内の椅子に腰をかけて待っている際に、貧血を起し椅子から転倒、腰を強打する。	499,000
H12.10.19					428,136
H12.11.4		左下肢	電気鍼	鍼施術を施した所、左下肢に蜂窩織炎が発生した。	256,270
H12.6.1	靭帯損傷	肩背部・上肢	マッサージ	肩背部・上肢のマッサージ、下肢の他動運動とマッサージを施しながら軽い矯正を行っていた。	100,000 190,000 4,330,300
H12.12.19	皮下出血・痙攣	上眼瞼脈破損	ステンレス鍼（寸3-3番）	上眼瞼部に刺入後、すぐに上眼瞼が腫れる。	937,460
H12.7.5	脳挫傷			自宅にて往診マッサージ中、杖にて歩行介助訓練中、患者の足がもつれ、右上顔面～前頭部をぶつける。	143,970
H13.3.29	頭部打撲				18,795
H13.3.29	火傷	右足首	灸（カマヤミニ・ソフト）	鍼で肩から足にかけて置鍼をし、その後、カマヤミニ・ソフトで肩から足にかけてお灸をした。	95,000 100,000 191,765
H13.1.11	気胸	右側胸椎	ディスポーサブル鍼（寸6-3番）	腹臥位で肩甲間部・右側胸椎6～8番への刺入が深かったと思われる。	122,492
H12.12.11	気胸	左前胸部	ステンレス製50mm 20号鍼	膏肓と魄戸（両側）に刺鍼。治療直後より、左胸部痛があり。呼吸困難も訴える。	200,000
H13.2.21	賠償			枕もとにあったメガネを踏んでしまい、破損。	28,400
H13.1.4	鍼混入	左大腿部筋肉内	ステンレス鍼（3寸-5番）	左鼠蹊部へ置鍼後、抜鍼中に3寸5番鍼が根本より折鍼。抜こうとしたが、左鼠蹊部に入り込み、残ってしまった。	793,370
H12.10.31	鍼混入	腰椎	セイリン（寸3-5番） ディスポ鍼	撚鍼しながらの、速い雀啄と雀啄の長さ（2分間位）に、鍼が耐えられず、鍼が根本から折鍼した。	566,400
H12.1.10					391,000
H13.5.10	気胸	左心兪・腎兪・肩井・肩中兪	鍼（ステンレス40mm 16号鍼）	伏臥位で、左心兪・腎兪・肩井・肩中兪のつぼに、針治療を行った。その15分後に左胸部の痛みを訴えた。	66,940
H13.3.19	骨折	大腿骨頸部	マッサージ	大腿部をマッサージし、伏せて、足を外側に倒したところ、乾いた音がした。	496,410
H15.5.18	骨折	肘関節	マッサージ	肘関節の可動域改善動作時、上腕骨骨折	300,000
H13.5.15			マッサージ	マッサージ治療の数日後、循環障害による浮腫が、右上肢全体に出現する。	500,000

発生日	事故種類	原因部位	使用器具	事故状況	支払額
H13.5.8		左五十肩	低周波マッサージ	低周波マッサージ、吸球治療をしている時に、痛み・痙攣を発生して苦しみ、救急車にて病院に搬送した。	1,000,000
H13.6.16	骨折	腰背部	マッサージ	腰痛のため、側臥位にてマッサージをする。その際に、「ボキッ」と音がし、痛みが急に発生する。	179,860
H13.6.30	腫れ・痛み		鍼	鍼治療による、腕から指先までの腫れと痛み	300,000 475,000
H13.8.2	気胸		鍼	左肩痛があった為、胸椎の第7、8位の外方1寸5分に刺入し、抜針時に苦しまれた	308,262
H13.8.1	気胸	僧帽筋部	鍼	鍼をした後、気胸を起こし、入院した。	300,000
H13.9.29	痛み(胸)		鍼(寸3-3番)	背中に鍼をした所、胸が痛くなった。	221,890
H13.9.6		肩・首	マッサージ・指圧	肩や首を施術したが、初診時に関しては、痺れもなく、お帰りになりました。(頸腕症候群)	320,740
H13.4.3	骨折	足	マッサージ	患者の足をベッドから出した形でマッサージをした所、左足が「ボキッ」と音を立て、激しい痛みが発生した。(左大腿骨転子部骨折)	591,450
H13.10.12	疼痛	頸肩背部	鍼・パルス鍼・温熱機・低周波	右足、頸肩背部の疼痛、緊張を取るため、頸肩背部にパルス通電中、左肩甲背内角部上部(きょくえん)異常筋収縮により発生。	564,022
H12.7.31	骨折	左股部	マッサージ	マッサージ中に、左股部を押されて負傷する。	502,490

-22-

平成十四年度 各師会の活動状況及び会員の消息

「盛岡師会」

総務部 佐々木 実

平成14年度の盛岡師会、松下優子さんという新会員を迎え47名と、県師会の4割を占める会員数となりました。そんな中、今年4月の総会で、佐々木金男新会長が誕生し、役員も前会長の猪ノ口さんと、前副会長の上田さんに変更、佐々木裕樹、前川せい子の若い二人が就任しました。新会長は、三療の保険取り扱いに力を注ぎたい事を表明し、行動を開始している。以下、盛岡師会の活動を詳解します。

- 4月21日 定期総会
 - 9月1日 (ふれあいランド岩手)でのマッサージボランティア
 - 10月10日 保険医協会との懇談準備会開催
 - 11月3日 盲人ホームでの、あ・は・きボランティア
 - 11月17日 西厨川老人福祉センターでのマッサージボランティア
 - 11月21日 保険医協会との懇談会
 - 12月7日 忘年会
- ほか、年4回の役員会開催 上部所属団体行事等の参加

「花巻師会」

師会長 坂本 昭市

花巻師会の総会は、4月16日に花巻温泉地内の飲食店で行いました。本年度は総会の前に、前師会長が退会するという大変な事態となりましたが、会員の協力により、無事、終了する事ができました。

今年から坂本が師会長をつとめる事となりましたので、よろしくお願いします。

私が入会した当時には、会員が15人くらいでしたが、現在は6人になりました。新規に開業した治療院も数件ありますが、1名の入会者もありません。力の無さを感じています。会の活動も活発ではありませんが、5月に行われた県総会には全員が出席してくれて助かりました。

又、12月1日には、JA花巻の依頼で（家庭でのマッサージ）を実演指導に花巻師会から岩間治療院の岩間先生が出向きました。来年は、鍼師、灸師が沢山増えるので、開業する先生方も出てくると思われます。会の宣伝を活発に行い、会員が増えるよう協力したいと思います。

-23-

「北上師会」

師会長 高橋 隆

長年に渡りご活躍されてきました、多田兼雄さんが、9月に他界されました。謹んで哀悼の意を表したいと思います。北上師会は、今現在会員が3名となりました。会の運営、慰問マッサージにも困難を来してきましたが、なんとかがんばって行こうと思います。

活動報告

6月12日 老人ホーム（けいあい園）マッサージボランティア

「水沢師会」

師会長 千田 節雄

一年の経つのは実に早いもので、また、こうして原稿を書く時節が来ました。一年が早く感じるのは、毎日余裕のない生活をしているからではないかと、ため息が出てきます。右を見ても左を見ても、いい話の一つもなく、不景気は止まる所を知らないようで、金銭に関する犯罪があとを絶たず、大変な時代に成りました。

さて、水沢師会の主な行事を挙げます。

4月14日 定期総会開催

6月 2日 第1回理事会開催

8月25日 第1回慰問治療並びに研究会の実施

12月 1日 第2回理事会の開催

11月13日 新年会開催予定

2月11日 第2回慰問治療並びに研究会実施予定

3月上旬 第3回理事会を開催予定

来年度は水沢師会創立90周年の年にあたり、もっか記念事業の準備を進めているところです。

新会員紹介

退会者が続いた水沢師会でしたが、10月29日付けで高橋善次さんが入会しました。江刺の稲瀬で開業しております。どうぞよろしく。

「一関師会」

総務部

当師会は、鈴木富夫師会長以下12名の会員をもって活動しておりますが、当師会最年長でありま

-24-

した花泉町在住の小野寺安治先生が、平成14年4月16日午前5時30分に永眠されました。92歳の高齢でありましたが、常に我々の手本となり、90歳を過ぎてまでも治療を続けておられました。先生は「安んつあん」「小野寺はり・きゅうさん」と慕われ、岩手県南地方はもとより、宮城県北・沿岸地方からも多くの患者さんが朝の暗いうちから待っていたり、お米持参の泊まりがけで治療を受けに来ていた等々、本当に沢山の人たちに頼られていた、心優しいすばらしい先生でありました。心よりご冥福をお祈りいたします。

平成14年10月29日、当師会顧問の北峯忠士先生が、岩手県身体障害者福祉大会（陸前高田市）に於いて、自立更正の部で岩手県知事表彰を授与されました。先生は、厚生大臣表彰を初めとして数々の表彰を受けておられますが、また一つ先生の功績が認められたわけであります。

今年の午年は良い年ではなかったと多くの人に聞かされました。みなさま方にとってはどのような一年であったのでしょうか。来る年の今頃は、良い一年であったと思いながら、この師会報告を書きたいと切に願いながら、報告をさせていただきます。

- 4月14日 定期総会
- 6月16日 第1回慰問治療
- 6月28日 慰問治療をしている「福光園」開設20周年記念式典に於いて、感謝状授与
- 9月29日 一関国際ハーフマラソン大会にマッサージ協力
- 10月6日 第2回慰問治療
- 11月10日 はり・きゅう・マッサージ講習会

「大船渡師会」

師会長 佐藤 明

地元師会役員として二期目となり、皆様のご協力のお蔭で、少しずつ要領をつかみかけて来たところ
です。

- 4月7日 大船渡師会定例総会開催（住田町・風月）
- 5月12日 岩手県師会通常総会、三名出席
- 6月30日 （午前）特養老人ホーム高寿園（陸前高田市）マッサージ奉仕活動6名出席
（午後）心肺蘇生法講習会開催（陸前高田市消防署）6名出席
- 9月8日 県師会保険部、青年部共催「治療院繁栄の方策」講習会2名出席

9月29日 (午前) 特養老人ホーム富美岡荘(大船渡市) マッサージ奉仕活動7名出席
(午後) 大船渡保健所職員の講演と懇談会(県立福祉の里センター) 7名出席

12月1日 年末恒例忘年会・民宿碁石荘(大船渡市) 9名出席

平成14年度は地元の活動として新しく、勉強と情報の交流を高める目的で、講習会と懇談会の二つを実施しました。初めてとしては満足できる結果といえます。企画を工夫しながら継続して行きたいと考えています。

会員は、現在8名ですが、親睦と交流は益々深められています。新会員勧誘と、顧客獲得のための活動が課題であると思っています。研究と実行で一步ずつの努力を続けて生きたいと思えます。

「釜石師会」

師会長 佐々木 至

今年は11月に入って間もなく曇(みぞれ)が降って、雪もちらつく。暖冬の予想とは裏腹な、私たちにとって寒く厳しい冬が早くも訪れました。2002年は、年明け早々2003年に釜石で開く、県の総会の会場探しに奔走する事から始まったのです。帯に短し襷に長しとはよく言ったもので、なかなか、折り合いがつかない日々が続きましたが、やっと、私たちがよく利用している「宝来館」という民宿を見つけ、準備委員会を立ち上げ、二度下見と交渉を繰り返して理事会までに間に合い、正式に引き受けを表明でき、報告する事ができました。

4月14日に新会員の古川さんの歓迎会を兼ねて釜石師会の総会を開いた。規約改正を成立させ、懇親会に人りましたが、我が会員はあまり飲めないで、盛り上がりませんでした。でも2003年の県の総会を成功させようと誓い合った。

6月20日、特別養護老人ホーム「清風園」にマッサージ奉仕に行つて大変喜ばれました。このホームは廃止され別のところに移るので、今後どうなるか分からない。

9月1日には、老人ホーム「五葉寮」に鍼やマッサージの治療をして喜ばれました。先日岩手日報に元遠野師会会員で、多田弥太郎さんという我々の大先輩が百歳を超えて尚、元気に営業を続けていると

新聞記事がありました。その記事によると、自分を必要とする人がいる限りやめるわけには行かない。60歳にもならない私がやめる事を考えるのは恥ずかしい事だと、強く反省させられたのです。

年々厳しさを増す三療ですが、釜石師会の会員は工夫をこらして生き残りをはかっています。ある会員は保険取り扱いを積極的に取り入れたり、ある会員は宣伝に力を入れたりしています。このような努力は必ず報われ、生活向上に繋がるものと私も信じています。

最後に来年開かれる県の総会に県内の多数の会員がお出でくださるよう、釜石師会一同、心からお待ちしております。どうぞよろしくお願ひします。

海の幸・山の幸、それに、厚い人情でお待ちしております。

「宮古・下閉伊師会」

師会長 小野 一茂

世の中、不況で毎日の仕事が心配です。これは、私個人的な事になるかもしれないが、宮古・下閉伊地区は岩手県一不況のような感じがします。宮古師会は会員数が少なく行事をするのも大変です。大変続きですが、どうにかみんな、元気で頑張っているようです。

それでは、宮古師会の平成 14 年の事業報告をします。

- 4 月 13 日 宮古師会総会を金浜身障者福祉センターで午前 10 時から行う。
- 5 月 12 日 岩手県師会総会を盛岡労働福祉会館で行う。会長出席。
- 6 月 15 日 山田「平安荘」慰問治療を行う。宮古市マッサージ慰問は中止しました。
- 6 月 23 日 宮古・下閉伊師会学術研究会を山田飯岡防災センターで行う。内容は、各治療院で使用している医療機械についての話し合いだった。藤原先生の使用している超音波の事に、皆、興味を持って聞いていた。

以上で、宮古師会の報告を終わります。皆さんも不況に負けずに仕事に励んでください。

「久慈師会」

師会長 岩本 芳弘

身体障害者の自立と社会参加を促す「身体障害者補助犬法」が 10 月 1 日施行されました。

-27-

公共施設や交通機関、不特定多数が利用する施設が補助犬（盲導犬、介助犬、聴導犬）の同伴受け入れを義務づけた画期的な法律といわれております。しかし、県内で活躍する補助犬は、盲導犬 9 匹にとどまっており、普及はなかなか進んでいません。

そこで、盲導犬の使用者が、11 月 30 日に盛岡で、岩手日報の正月特集号の取材で 6 人と盲導犬が集まりました。

話し合いの中で、

- 一、安全、安心して歩く事が出来る。
- 二、行動範囲が広がった。
- 三、健康になった。
- 四、閉じこもりがちだったのが、外出が多くなった。

その他いろいろな話がありましたが、この経験を同じ視覚障害者に一人でも多く体験して欲しいという事に最後はなりました。

さて、久慈師会の活動は、

- 4 月 14 日 午前 2 時総会
- 「会員近況報告等」会員皆元気です。
- 人数が少ないので活動なし

「二戸師会」

広 報 部

今年も残すところ、あと僅かと成りました。毎年のようにそのような事を書かせて頂いております。今年はいつもの年より冬に成るのが早いような気がします。それにしても今年もいろいろな事が世界でありました。

幾つか例を挙げてみますと、まずは同時多発テロ以降、あちこちでテロ活動がおきています。また、日本と北朝鮮の首脳会談が行われ、北朝鮮側は拉致事件を認めることで生存者が5人、死亡とされた人が8人と証拠もなく報告されてきた。その後、5人が一時帰国され、後は北朝鮮に残してきた家族が帰国出来ることが望まれる。

また、国内に目を向けると、相変わらず政治家の秘書による事件で議員が辞職するなど、とくに鈴木宗男事件に関しては腹が立った。そのほか、大手食品メーカーの国産と輸入産との不正表示事件など、様々な事件がありました。

これ以上書くことは止めます。他に我々に関係する出来事としては、法19条問題が参議院で採択さ

-28-

れたことが、少し前進したのではないかと思います。

わが二戸師会の会員は皆元気しております。

それでは、本年度の二戸師会の事業活動について報告します。

4月26日 定期総会開催。役員改選が行われ、7期14年会長を務められた山本孝一さんが勇退され相談役となり、新しい会長に古館吉弘さんが選任されました。前会長同様、ご指導と支援をよろしく申し上げます。

5月12日 県総会出席

7月7日 東鍼連青森大会参加

9月20日 軽米町公民館にて、マッサージ奉仕。

9月25日 九戸村保険福祉センターでマッサージ奉仕。

10月28日 軽米町老人保健医療施設「花の里」でマッサージ奉仕。

11月28日 二戸市老人ホーム「紅梅荘」に於いて、マッサージ奉仕。

毎年、保健所長さんとの懇談会が昨年度は所長さんの都合がつかず、中止となりました。

今年度は15年2月に予定しております。以上で終わります。

編集後記

事業部長 山本 孝一

今年もいろいろありましたが、もう暮れようとしております。

新幹線が八戸まで開通し広い岩手県が狭くなってきました。私の住んでいるところも大きく変わることだろうと思います。

来年度は東鍼連開催などがあります、皆様のご協力ご支援よろしく申し上げます。

会報35号点字、墨字版発行します、よくお読みのうえ総会の資料にして頂きたいと思います。

社団法人 岩手県鍼灸按摩マッサージ指圧師会
平成十四年度会報第三十五号
平成十五年三月一日発行

発行人 理事長 下佐 征昭
〒〇二〇 - 〇一一六 盛岡市箱清水一丁目三十六番五号
電話 (〇一九) 六六一 - 六二七七

編集責任 副理事長(事業部長) 山本 孝一
〒〇二八 - 六一〇一 二戸市福岡字在府小路五十二 - 四
電話 (〇一九五) 二三 - 三九六八

事務所 〒〇二〇 - 〇一一六 盛岡市箱清水一丁目三十六番五号
下佐 征昭 方

事務局 理事長 下佐 征昭
電話 (〇一九) 六六一 - 六二七七
(郵便振替) 岩手県鍼灸按摩マッサージ指圧師会
口座番号 〇二三六〇 - 九 - 一九八三三

印刷 有限会社 大船渡印刷 大船渡市大船渡町字野々田二〇 - 四
電話 (〇一九二) 二六 - 三三三四

鍼灸用具・物療器械・健康器具
治療補助材料・開業諸設備等

(有)ヤマキン医療器

〒034-0083 青森県十和田市西4番町8-39

TEL.0176(25)3666

TEL&FAX.0176(23)9138

新商品紹介

微小循環の改善に フルネスNC100

まずはお試ししてください3日間～

あなたの血はサラサラですか？血液が濁ってくると細胞の働きも鈍ってきて、代謝活動もうまくいなくなり色々なことが起きてきます。(頭痛・肩こり・冷え・血圧上昇・倦怠感・疲労・足のむくみ・血管が浮き上がること)

朝夕2回、食後に2カプセル1回、1箱～3箱お試しいただければ、きっと何かをかんじて頂けるのではと思います。

フルネスNC100小箱
12カプセル入り 1箱 **1,450円**

フルネスNC100びん入り
120カプセル入り 1個 **13,500円**

ダイオード(半導体)ステッチロングの紹介

人体の生体電流のバランスが乱れると不健康になるといわれ、ダイオードの機能を利用し生体電流を調整しようとするものである。

- ◎輸気は補で(細い方)外部からエネルギーを体内に取り入れる。
- ◎消気は瀉(太い方)余分なエネルギーを体外に放出する。
- ◎ローラーは補瀉両方の作用がある。

人体の生体電流(エネルギー)のバランスが乱れると不健康になるといわれダイオードの機能を利用し生体電流を調整しようとするものである。